



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 旭有機材工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4216 URL <http://www.asahi-yukizai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 亀井 啓次

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岡本 忠久

TEL 03-3578-6001

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	16,996	11.7	575	224.9	544	244.9	252	—
23年3月期第2四半期	15,214	13.8	177	—	158	—	△171	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 46百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △366百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.58	—
23年3月期第2四半期	△1.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	51,372	—	38,427	—	—	74.8
23年3月期	52,947	—	38,678	—	—	73.1

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 38,427百万円 23年3月期 38,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	3.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,600	12.0	1,700	43.3	1,700	64.3	1,000	346.4	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	99,002,000 株	23年3月期	99,002,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,328,140 株	23年3月期	1,322,003 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	97,676,968 株	23年3月期2Q	97,698,580 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災の影響による原材料の調達難や電力不足などの混乱に加え、急激な円高や欧州金融危機など、非常に厳しく、また不安定な状況で推移しました。このような事業環境の中、当社グループにおいては、震災復旧に全力で協力するとともに、中期経営計画に基づく事業基盤の強化を着実に実行しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は16,996百万円(前年同期比11.7%増)となり、営業利益は575百万円(前年同期比224.9%増)、経常利益は544百万円(前年同期比244.9%増)、四半期純利益は252百万円(前年同期の四半期純損失は171百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 管材システム事業

主力配管材料製品は、国内では原料不足や電力制限の中で震災の復旧・復興向けを優先するとともに、流通網と一体となった営業展開により、好調に推移しました。また、海外では、堅調な南米の鉱山向け受注に加え、アメリカ国内の半導体・液晶関連の需要を獲得し、アサヒアメリカ, INC. は好業績を維持しました。半導体・FPDプロセスのニーズに対応する樹脂製バルブ&フローコントロール製品「Dymatrix™」につきましては、韓国半導体向けの販売が急拡大するとともに、国内では同シリーズ新製品の流量調整ユニット「Falconics™」が大きな反響を呼び、大幅に売上を伸ばしました。また、電子機器向け洗浄装置を製造販売するエーオーシーテクノ(株)は、太陽電池向けに大幅に売上を伸ばし、好調に推移しました。エンジニアリング事業は、国内民間設備投資の低迷により苦戦が続きましたが、小規模物件の受注を積み重ね堅調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は11,030百万円(前年同期比13.7%増)、営業利益は625百万円(前年同期の営業利益は55百万円)と大幅な増益となりました。

② 樹脂事業

鋳物用樹脂及びRCSは、震災で国内自動車生産が落ち込んだ影響を受け、国内売上高は前年同期を大幅に下回りました。一方で、中国の鋳物用フェノール樹脂製造販売会社「旭有機材樹脂(南通)有限公司」は、中国国内の堅調な自動車生産に支えられ売上を大幅に伸ばしました。発泡材料用樹脂は、高性能ノンフロン現場発泡システム「ゼロフロン®ER」がブランドの浸透を進め、売上を伸ばしました。また木造住宅用現場発泡断熱システム「ゼロフロンフィット」を6月より販売開始しました。高機能材料用樹脂は、主力市場がLEDおよび半導体用途向けである電子材料用樹脂は堅調に推移し、住宅断熱材用樹脂が好調に推移した一般工業用樹脂は売上を伸ばしました。一方で成形材料は、主要仕向け先である自動車産業が震災による影響を受け、売上は前年同期を下回りました。

また、当セグメントでは、主要原料メーカーが被災して原料供給が停止し、原料市況が高騰したため収益が大幅に圧迫されました。

その結果、当セグメントの売上高は5,967百万円(前年同期比8.3%増)、営業利益は26百万円(前年同期比83.8%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産は51,372百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,575百万円減少しました。これはたな卸資産の増加がありましたが、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少、投資有価証券を売却したことなどによるものであります。負債は12,946百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,323百万円減少しました。これは主に支払手形及び買掛金、短期借入金の減少によるものです。純資産は38,427百万円となり、前連結会計年度末に比べ252百万円減少しました。これは配当金の支払いやその他有価証券評価差額金の減少などによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成23年7月29日に発表いたしました業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

主として当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,360	2,598
受取手形及び売掛金	12,746	12,059
有価証券	78	—
たな卸資産	6,892	7,641
その他	948	937
貸倒引当金	△38	△28
流動資産合計	23,985	23,207
固定資産		
有形固定資産	13,526	13,458
土地	6,044	6,036
その他(純額)	7,482	7,422
無形固定資産	249	309
投資その他の資産		
投資有価証券	10,294	9,481
その他	4,921	4,945
貸倒引当金	△29	△28
投資その他の資産合計	15,186	14,398
固定資産合計	28,962	28,165
資産合計	52,947	51,372
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,904	6,619
短期借入金	1,500	1,070
未払法人税等	140	138
その他	2,921	2,403
流動負債合計	11,466	10,230
固定負債		
退職給付引当金	1,267	1,296
役員退職慰労引当金	285	174
その他	1,251	1,247
固定負債合計	2,803	2,716
負債合計	14,269	12,946
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,479	8,479
利益剰余金	26,226	26,185
自己株式	△555	△556
株主資本合計	39,151	39,108
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	△183
為替換算調整勘定	△477	△498
その他の包括利益累計額合計	△473	△682
純資産合計	38,678	38,427
負債純資産合計	52,947	51,372

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	15,214	16,996
売上原価	10,460	11,926
売上総利益	4,754	5,070
販売費及び一般管理費	4,577	4,495
営業利益	177	575
営業外収益		
受取利息	15	3
受取配当金	22	26
持分法による投資利益	18	19
有価証券償還益	90	—
その他	25	39
営業外収益合計	170	88
営業外費用		
支払利息	2	9
複合金融商品評価損	63	11
為替差損	112	56
支払補償費	—	35
その他	12	7
営業外費用合計	189	119
経常利益	158	544
特別利益		
固定資産売却益	162	65
投資有価証券売却益	—	5
貸倒引当金戻入額	15	—
その他	43	—
特別利益合計	220	70
特別損失		
固定資産除却損	21	148
災害による損失	—	14
退職特別加算金	286	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
事業構造改善費用	189	—
特別損失合計	514	162
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△136	452
法人税等	39	200
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△176	252
少数株主損失(△)	△5	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△171	252

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△176	252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107	△182
為替換算調整勘定	△79	△21
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	△3
その他の包括利益合計	△191	△206
四半期包括利益	△366	46
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△362	46
少数株主に係る四半期包括利益	△5	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務 諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,703	5,511	15,214	—	15,214
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,703	5,511	15,214	—	15,214
セグメント利益 (営業利益)	55	161	217	△ 40	177

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額）であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務 諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,030	5,967	16,996	—	16,996
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,030	5,967	16,996	—	16,996
セグメント利益 (営業利益)	625	26	651	△ 76	575

(注) セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用（主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額）であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。